

500

ワンコインから考える
下北のこれから

ミツバチの 羽音と 地球の回転

鎌仲ひとみ監督作品

未来のエネルギーを
どうするのか？

祝島とスウェーデンで
エネルギーの自立に
取り組む人々の物語

日時

10月16日(日)

開場13:30 / 開演14:00

場所

下北文化会館 大ホール

料金

500円

事前予約と前売チケットには
オリジナルポストカード付き

主催：好きです！青森県実行委員会

監督 鎌仲ひとみ × 音楽 Shing02 × 制作 グループ現代

『六ヶ所村ラブソディー』に続く長編ドキュメンタリー映画

2010年 / カラー / デジタル / 135分 配給：グループ現代 <http://888earth.net/>



ここで生きていく決意が世界を動かす

ミツバチの
羽音と地球の回転

山口県の南、瀬戸内海に浮かぶ祝島(いわいしま)は、希少生物が棲息し、今も緑豊かな自然が残っています。人口は 500 人ほど。島民たちは半農半漁の暮らしを続けてきました。変化が訪れたのは 1982 年。高齢化が進み、第一次産業が衰退しつつある現実を前に、原発建設計画が持ち上がったのです。

島民の意見は、分かれしました。生活の糧を得るために原発を受け入れる人。なんとかして自立した暮らしを続けたい人。どちらも祝島を愛するがゆえの意見です。

島でいちばん若い働き手・山戸孝さんは、今、足元にある資源で祝島が自立する道を探る一人。妻と幼い子どもを抱えながら、地元の海草や無農薬のびわを販売し、新しい可能性を確かめる日々を送ります。

一方で、スウェーデンでは、地域自立型のエネルギー作りが始まりました。持続可能な社会を望む人たちの声が、新しいビジョンを切り拓いたのです。

祝島もスウェーデンも、下北半島からすると遠いところですが、「ここで生きていきたい」気持ちは地域を問いません。普通の人たちの、当たり前前の思いをどう未来につなげるか。日曜の午後、映画を見ながらゆっくり考えてみませんか。

祝島

むつ市

生存権の一つとして、何によって作られた電気を使うか、核なのか、風なのか、太陽の光なのか、選ぶ権利があるはず。

——坂本龍一(音楽家)

命やエネルギーの循環がもっと見える世界の方が人間は幸せになれると思う。

その連なりをつくっている小さな者たちを愛おしく思えるようになる映画です。——小林武史(音楽プロデューサー)

「今を生きる」ことが「未来を生きる」ことである。美しい祝島で美しい瞳を持った人達が働いている。私もあんな瞳を持ちたい。鎌仲さんの視線に賛同する。——渡辺えり(女優・劇作家)

気付いた人達が確かな行動を起こしている。その事実に出会う時、私達は知恵と勇気を分けてもらえる。そして、野花を小瓶に飾るようなユーモア。今、この国にとって最も重要な映画だと思います。——UA(歌手)

人が生きていくことは美しいこと。美しく生きることを学びそして繰り返していく。この映画を見た自分はまたあらたな灯りを灯そう。——Candle JUNE(キャンドルアーティスト)

監督：鎌仲ひとみ プロデューサー：小泉修吉 音楽：Shing02 撮影：岩田まきこ、秋葉清功、山本健二 録音：河崎宏一、服部卓爾
助監督：豊里洋、南田美紅、齋藤愛 編集：辻井潔 編集スタジオ：MJ 録音スタジオ：東京テレビセンター 制作・配給：グループ現代 2010年/カラー/デジタル/135分

この上映会は、オビニオンウェブマガジン「マガジン9」のプロジェクトの一つです。

下北出身のY子と弘前出身のA子が、多くの人たちの助けを借りながら上映会の成功を目指しています。

日 時：10月16日(日) 開場 13:30 / 開演 14:00

会 場：下北文化会館 大ホール 青森県むつ市金谷 1-10-1 (JR 大湊線下北駅から車 10 分)

入場料：500 円(事前予約と前売り券は特製ポストカードつき)

お問い合わせ・事前予約：「マガジン9」 www.magazine9.jp

電話 03-5363-1709 FAX 03-5363-1708 メール shimo1016@magazine9.jp

ご予約は、お名前、チケット枚数、連絡先をお知らせください。

上映会準備の
模様を
WEBで
伝えています!



www.magazine9.jp/shimokita/

マガ
ジン

9

Y子

A子

Y子

A子